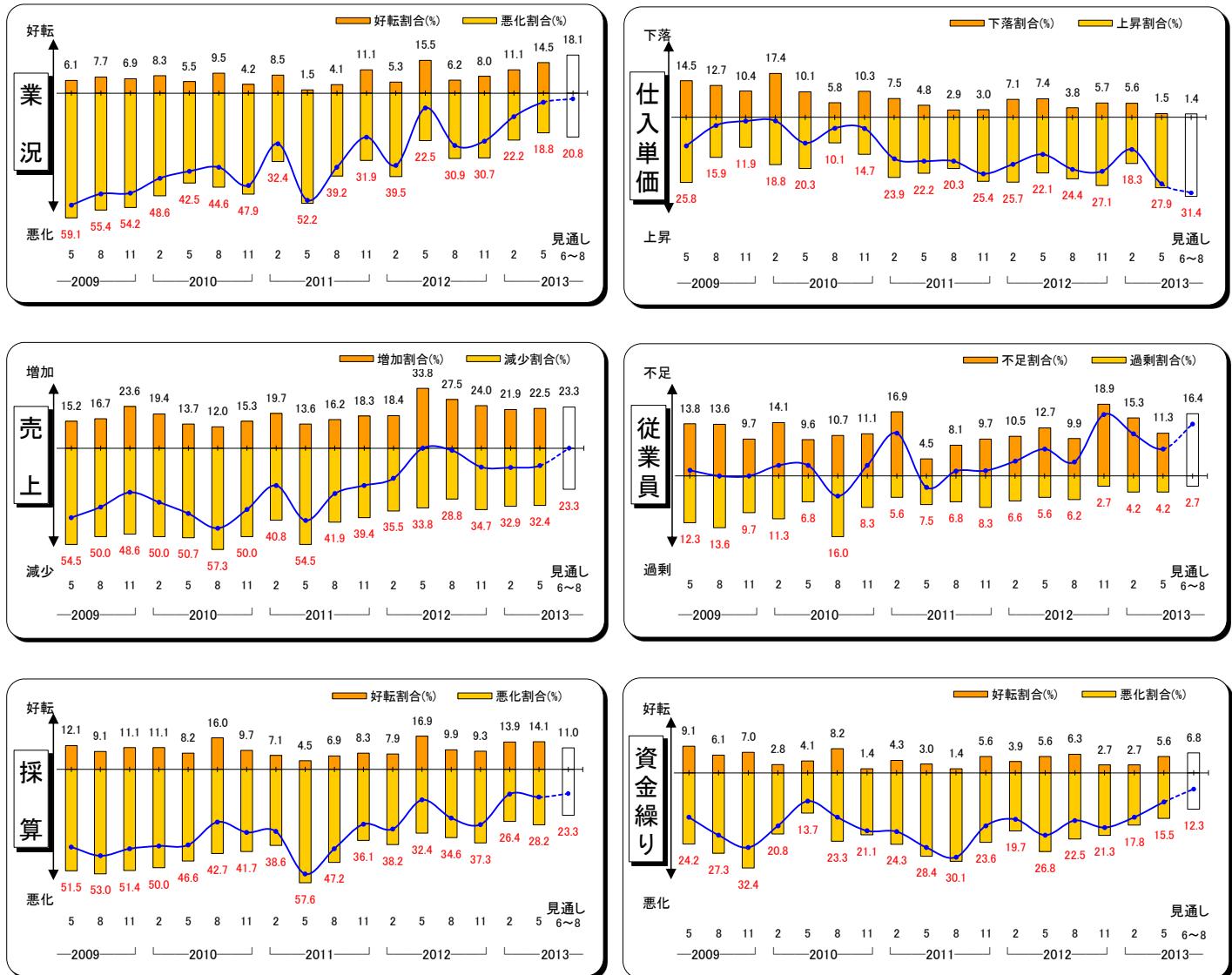


【サービス業】①



【サービス業】②

企業の声（順不同）

受託開発ソフトウェア業	同業界、同地域の会社の格差・リストラクションの流れが見受けられる。皆で力をあわせてがんばりたい。
運輸附帯サービス業	原材料中心の輸入が多い千葉港の特性からか、最近の円安で取扱量が極端に落ち込んでいる気がする。世間の様相は気分の転換をなしつつあるものの、現実に感じることは少ない。株価については輸出が好転するという先取りで活況を呈しているが、アベノミクスの恩恵を受けるにはまだ時間が掛かりそう。政府は設備投資に対して優遇金利をとる方針を示しているので、時期は多少前後してもタイミングが合えば設備投資の好機と見ている。
保険媒介代理業	このところ、度々商品改定、料率改定等があるので、その中で契約者に最善の提案・サービスを提供していくために多忙が続く。
不動産賃貸業	不動産（貸倉庫）賃貸業なので長期契約が主であり、業況は不变。
不動産賃貸業	「アベノミクス」効果がいろいろと報道されていますが、弊社の個人のお客様からはそのような雰囲気すら出ておりません。まだ先のお話でしょうか。
建設機械器具賃貸業	重機で使用する燃料やその他の油脂類の価格がアップしている為、採算が悪くなる？
建築設計業	受注単価のデフレ化は解消されないが、受注件数は多少増加してきた。インフレ傾向になって単価が上がれば利益が上昇してくるのであるが、アベノミクスの成果を期待したい。
建築設計業	連日、株価の上昇など経済動向が回復基調にあると報じられているが実感はない。昨年までの閉塞感に比べると明るい展望なので、今後に期待したい。
旅館・ホテル	なかなか売上が伸びず苦しい状態である。リニューアルを考えているが、新規に融資を受けることに不安があり、なかなか踏み込めない。借換・リスケジュールも考えてみたい。
専門料理店	飲食業部門のレストランの売上は増加、輸入業部門は減少しています。トータルでは変わらずというところです。今のところ円安前に手当した為替で輸入していますが、近々現相場で手当する事になる為、仕入コストが上昇します。売上増で乗り切るか、値上げに踏み切るか、判断をしなければなりません。
すし店	アベノミクスは届かず。基調は変らず。
機械修理業	建機販売（中古建機）は海外より問合せが多数寄せられて来ていますが、販売をする中古建機の量が増えていないので、円安の影響もあり、供給不足で値上りをしている模様です。次期開催のオリンピック施設建設用建機の需要がチラホラ出て来ている模様ですが、建機生産の分野における国内の設備投資についてはまだ先になっている様子があります。
ビルメンテナンス業	国内景気は緩やかに回復する兆しが見えてきたが、お客様の管理コスト削減意識に変化はなく、ビルメンテナンス業界の市場環境は引き続き厳しい状況にある。